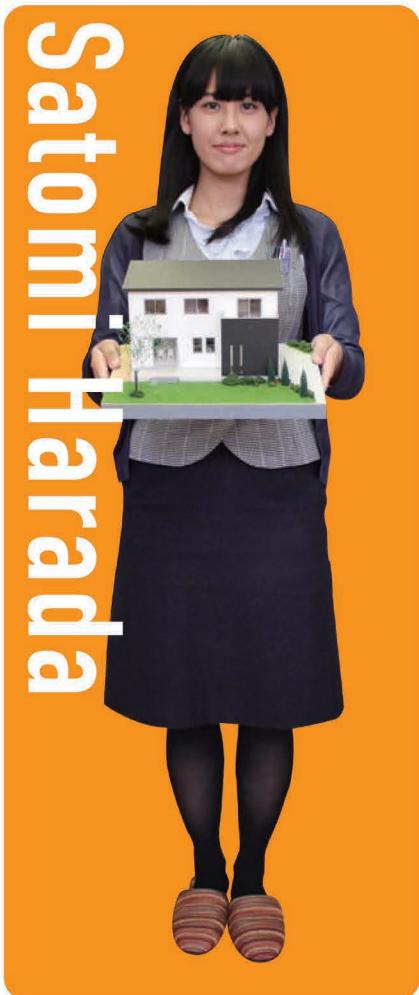


:Company Name

高山産業株式会社

:Personal Data



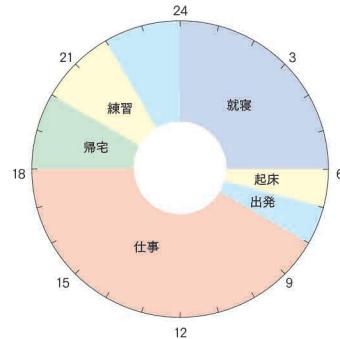
自分の知らなかった自分を見つける

仕事のモットー

仕事ができる人を手本にして、どういう風に作業や段取りをしているかを見て学んだり、分からることはまず自分で調べてそれでも分からなったたら人に聞く、確認することを習慣化することを心がけています。

学生の皆さんへメッセージ

自分に向いてない仕事だと思うことがあっても、すぐ辞めず3年ぐらいは継続してほしいです。「すぐ辞める」が癖になると、次にまた同じ状況になった時、同じことの繰り返しになります。継続すれば、苦手なことが得意になることもありますし、自分が知らなかった自分が見つかる場合もあります。



:Profile

原田 知美さん(24歳)

住宅事業部(リブレホーム)
山口県下関市出身
山口県鴻城高校普通科卒

:Company Profile



高山産業株式会社

公共工事・民間工事を軸とする創業60年の総合建設業です!「誠実に、まじめに、考案する」をモットーに設計、建設、運送まですべてを自社サイクルにより業務を遂行できることが大きな特徴です!

- 事業内容 / 設業(土木・建築)住宅・設計事業(リブレホーム)
運送業(10tダンプ)車両整備業 不動産業
(企業誘致、新規宅地分譲開発、仲介ほか)
- 設立 / 昭和47年3月
- 本社所在地 / 美祢市秋芳町岩永本郷29番地
- 代表者 / 代表取締役 高山 正男
- 資本金 / 4,000万円
- 売上高 / 25億円
- 従業員数 / 93名
- 事業所 / 美祢市秋吉町岩永本郷29番地

お問い合わせ先

担当/総務部 岡崎 哲夫
TEL 0837-62-0216
E-mail soumu@takayama-ind.co.jp
<http://www.takayama-ind.co.jp>

Interview



お客様の様々なニーズに対応

高山産業株式会社は、公共工事、民間工事を軸とする総合建設業の企業だ。総合建設業という名のとおり、土木・建築や住宅・設計事業(リブレホーム)、運送業、車両整備業、不動産業と幅広い分野で活躍している。原田さんはその中でも住宅事業部でリブレホームのホームページの更新や、お客様へのDMの作成、イベントの製作などで活躍している。「自分の作ったチラシやDMを見て、イベントに来てくれるお客様が多いと自分でも達成感を感じる。今後もパンフレットなどで若い人を呼び込みたい。」と原田さんは嬉しそうに語ってくれた。



「すぐにあきらめないこと」が大事

入社してすぐは、わからないことだらけでお客様と話すのもうまくできず挫折を経験したという原田さん。しかし、手本となる人を見て学び、わからないことを確認することを習慣化することで、知識やできる業務を増やしていく、徐々に自分の得意が分かってくるようになった。自分に向いていないと思っても、辞めたりしないことが大事。継続することで苦手なことが得意になることも、自分が知らなかった自分を見つけることもあると語ってくれた。「今後、年が下の人の手本となるようにしたい」と笑顔で話す原田さんの姿がとても印象的だった。

高山石油ガス株式会社



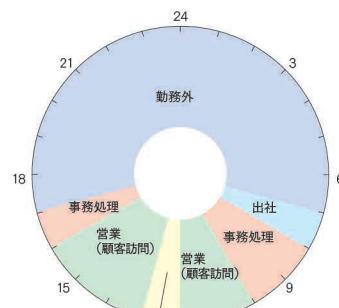
いつもお客様との 「心のつながり」を

うれしかったこと

お客様に、提案した工事を大変満足していただけた時です。「高山石油ガスさん」から「高山石油ガスの田中さん」と名前と顔を覚えてもらえた時です。

学生の皆さんへメッセージ

学生のうちに、学問と遊びのオン・オフをしっかりとやつておくことです。学校で学ぶ知識が直接役に立つことはそう多くはないが、学習のクセを身に着けておかないと仕事で専門分野を学ぶ時に苦労します。働き始めると、長期の休暇が取りにくくなるので、旅行などはできるだけ経験しておくといいと思います。



:Profile

田中 直史さん(27歳)

直売部 直売課 光営業所
山口県光市出身
福岡県立大学人間社会学部公共社会学科卒



高山石油ガス株式会社

LPガスの販売を主軸に、幅広く業務を展開。ライフラインのひとつとして地域社会を支えており、「地域に、お客様に、環境に」貢献する企業であり続けることを目指しています。

- 事業内容 / LPガス・ガス器具・住宅機器の販売、住宅リフォーム業、新エネルギー機器(エナファーム・太陽光発電システム)・水の販売
- 設立 / 昭和31年9月
- 本社所在地 / 下松市大字平田111番地
- 代表者 / 代表取締役 杉本慎一
- 資本金 / 2,000万円
- 売上高 / 32億円
- 従業員数 / 173名(うちパート6名)
- 事業所 / 営業所: 県内9ヶ所
充填所: 県内6ヶ所

お問い合わせ先

担当／総務部長 松野 和彦
TEL 0833-43-3500
E-mail jinji@takayama-gas.co.jp
<http://www.takayama-gas.co.jp>



お客様の笑顔でやりがいを感じる

光営業所に勤める田中さん。業務内容は主にお客様の自宅への訪問や検針などを行っている。直接お客様と関わることのできる仕事をしたい田中さんにとって、「お客様との心のつながりを大切にしよう」という会社のスローガンは仕事を充実したものにしている。

そんな田中さんにとって、お客様と本当に分かり合えたと思うのは、一人一人のお客様に対応したものを販売し、喜んでもらえた時である。「お客様の笑顔は何よりも仕事のやりがいを感じるものだ」と話してくれた。



地域、お客様と共に存する

高山石油ガス株式会社ではガス器具などを主軸として販売している他、宅配水なども取り扱っている。田中さんは「毎月、宅配水により顔を合わせることでお客様自身を理解したい」と話してくれた。「様々なお客様との会話の話題を作るために、趣味を含め様々なことを大学で勉強するべきだ」と私たち学生へのアドバイスもいただいた。

10年後のビジョンとして、“既存のお客様をいかに大切にできるか”ということを挙げられ、つまり“地域、お客様との共存”ということなのだと感じた。

医療法人治徳会 湯野温泉病院

:Personal Data



今、起きている現状を 冷静に見極める

仕事のモットー

「常に患者様の現状の訴えに目や耳を傾ける」。記録やケア、医療行為ももちろん大切なことですが、何よりも今起きている現状をしっかり目の当たりにし、少しでも苦痛を与えない、毎日穏やかな入院生活を送っていただけたいと思っています。

うれしかったこと

「看護師さんって仕事は大変ですね。いつもケア等丁寧にしているだけでありがとうございます。」と患者様や家族の方に言われた時と、例えば食事ができなかったのが食べられるようになった等、アクションが見られた時です。当院は療養病床なので、ある程度治療が落ち着かれた方が入院されており、患者様がゆったりと療養される環境で、看護の仕事ができることも生きがいに感じています。



永松 美紀代さん(37歳)

看護師
山口県下松市出身
九州女子大学附属高校衛生看護専攻科卒

:Company Profile



医療法人治徳会 湯野温泉病院

湯野温泉にある医療と介護の総合施設として、地域の高齢者に奉仕の心をもって、温泉のような身も心も温まるサービスを提供しています。2015年度ユースエール認定企業として3年連続で認定を受けています。

- 事業内容 / 医療業及び介護保険サービス業 高齢者向け住宅の運営
- 設立 / 昭和44年8月
- 本社所在地 / 周南市湯野4217-2
- 代表者 / 都野治男
- 資本金 / 4,950万円
- 売上高 / 13億円
- 従業員数 / 221名(うちパート21名)
- 事業所 / 湯野温泉病院・老人保健施設温泉の里・サービス付き高齢者向け住宅湯野温泉・居宅介護支援センター湯野温泉

お問い合わせ先

担当 / 事務 都野実
TEL 0834-83-2083
E-mail desk@chitokukai.com
<http://www.chitokukai.com>

Interview



患者さんと長く寄り添う

医療法人治徳会は、医療と介護の総合施設として、サービスを提供している。永松さんは、ここで看護師として働いている。この仕事の魅力は「長く患者さんと関わること」。常に患者様の現状の訴えに目や耳を傾けることを心がけている。現状をしっかり目の当たりにし、少しでも苦痛を与えないことをモットーに仕事をしているそうだ。「療養型病院であるため、落ち着いた雰囲気があるこの環境で仕事ができることを生きがいに感じている」と永松さんは嬉しそうに語ってくれた。



苦労を乗り越え、好きなことを仕事に

「看護について学んでいるうちに、老年看護学が好きになり、この仕事に就いた」と語ってくれた永松さん。自分の興味の持っていることを仕事に持ち込めるることは素晴らしいことであり、やりがいもそこには見つけることができる。しかし、そこは良いことばかりではなく「たくさんの苦労があってこそ仕事として成り立っていく」のだと永松さんは語った。簡単に物事を考えずに、自分の興味のあることに向かっていってほしい。この心に残るアドバイスを参考にし、これから後悔のない進路決定をしたいと思った。

:Company Name

長府工産株式会社

:Personal Data



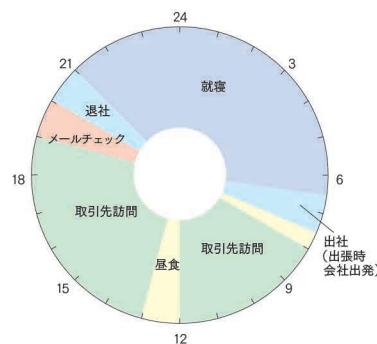
自分が主体になって動ける営業マンを目指す

うれしかったこと

メーカー商社の立場として、提案した商品を販売店を通じて実際に購入されたお客様から喜びの声を直接頂いた時は嬉しかったです。一緒に同行することで役に立つことができたと実感しました。

学生の皆さんへメッセージ

学生時代は授業や部活動、サークルなどを通じて様々な経験をされると思います。しっかり学生生活を楽しんで大切な仲間を見つけて頂きたいと思います。



:Profile

塚原 誠さん(27歳)

営業部
山口県宇部市出身
長崎大学環境科学部卒

:Company Profile



長府工産株式会社

下関市から全国へ展開する住宅設備機器のメーカー・商社です。石油給湯機メーカーとして培ったノウハウを基盤に、太陽光発電等のエネルギー・マネジメントに関する商材の取り扱いや、水素ボイラーの開発を行っています。

- 事業内容／石油給湯機、太陽熱温水器などの製造・販売、太陽光発電など各種住宅設備機器の販売
- 設立／昭和55年6月
- 本社所在地／下関市長府東侍町1-5
- 代表者／代表取締役 伊奈 紀道
- 資本金／3億円
- 売上高／200億8,900万円(平成29年3月期)
- 従業員数／183名(うちパート19名)(平成29年3月期)
- 事業所／関東(栃木県)、名古屋(愛知県)、宮崎、沖縄

お問い合わせ先

担当／営業部 末廣由香理
TEL 083-245-5441
E-mail info@chofukosan.com
<http://www.chofukosan.com>

:Interview



できる限りの手伝いを

長府工産株式会社は、ボイラーなどの製造・販売を行っている会社である。営業部の塚原さんは、主に企業に対して製品の販売をするBtoB形態で仕事をされており、営業活動の中で経営者などいろいろな人と出会い、話を聞き、情報の提供などをして会社を大きくしていくお手伝いをされている。

長府工産株式会社はメーカーと商社が一体となった会社であるため、塚原さんはメーカーとしては自分たちで作ったものを販売することに、商社としては常に最新の情報を提供することができることに魅力を感じるそうだ。



入ってからの自己実現

営業という仕事について塚原さんは「私は、教えたがりの性格であったせいもあって、自分たちを広告して広めていくという長府工産の営業スタイルが合っていました。もともと放送関係も視野に入っていたこともあって、分野は違うもののできる限りの自己実現をすることができていると思います。」と語ってくれた。

塚原さんの将来の展望は、「もっともっとキャリアを重ねていきたいし、自分主体でお客様に提案をしていきたい」と話す。根っからの営業好きという塚原さんの姿は、とても生き生きとしており、輝いて見えた。

テレビ山口株式会社



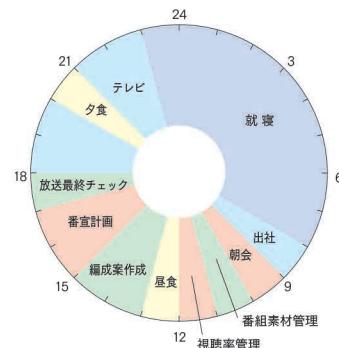
テレビで山口県の魅力を伝える、それが私の仕事

うれしかったこと

1つは視聴率が上がった時。たくさん的人に番組を見てもらえたんだな、という実感を数字から得ることができます。もう1つは電話やお手紙で視聴者さんの生の声を頂いた時です。「あの番組面白かったよ」とか「よかったよ」といった喜びの声が仕事の励みになります。

学生の皆さんへメッセージ

SNSなどが普及した時代ではありますが、テレビはまだ影響力の強いメディアです。「山口県を盛り上げよう」と思っている人は是非うちの会社と一緒に地域に愛される会社、人材になれるよう頑張っていきましょう。



:Profile

長嶺 龍さん(32歳)

編成業務部
山口県周南市出身
同志社大学法学部卒



テレビ山口株式会社

テレビ山口では「スーパーローカル宣言」を掲げ、ニュース番組「tysニュースタイム」をはじめ、「週末ちぐまや家族」「ちぐスマ!」といった情報番組を制作・放送しています。

- 事業内容 / 放送法による基幹放送事業
放送番組の制作
各種イベントの企画運営等
- 設立 / 昭和44年4月
- 本社所在地 / 山口市大内千坊6-7-1
- 代表者 / 代表取締役社長 斎藤 宗房
- 資本金 / 4億9,450万円
- 売上高 / 37億7,000万円
- 従業員数 / 76名
- 事業所 / 東京、大阪、広島、周南
下関、福岡

お問い合わせ先

担当／総務部 梅田
TEL 083-901-3333
E-mail su168@tys.co.jp
<http://www.tys.co.jp>

Interview



会社の舵取りを任されて

山口県のローカルテレビ局の1つである「テレビ山口」。テレビ局の仕事というとアナウンサーやカメラマンのイメージが強いだろうが、長嶺さんが担当する「編成業務部」はまさに会社の中核を担っているといえる。放送番組の決定、番組の時間決め、視聴率管理、番組の視聴率を上げるためのCM、広報誌、SNSを利用した番組宣伝の計画など、その仕事は多岐に渡る。「これらの仕事をワンマンで行うではなく、報道部や番組制作部、時には社外の人とも密に関わりながら、放送をいかに良くしていくか考えます。すべての『要』となっている分、責任も大きいですが、様々な部署と関わることができ、やりがいも大きいです。」と話す長嶺さん。今日もテレビ局という大船が時代の波に乗れるよう舵を切る。



地域に愛されるテレビ局を目指して

「地域に愛される放送局になりたい」

それは長嶺さんをはじめ、社員全員の願いである。ローカルニュースの他、「週末ちぐまや家族」といった地域密着型情報番組を放送しているが、2017年9月からは新たに情報番組「ちぐスマ!」を月曜から金曜までペルトで放送することにした。「自社制作番組を毎日放送するというのはとても大変です。それでも地域のホットな話題をいち早くお届けするために挑みました。」

長嶺さんの目標は「会社が山口県ナンバーワンの放送局になること」である。地域の人に「一番」愛される放送局になるその日を目指して長嶺さんは日々奮闘している。

東亜自動車工業株式会社



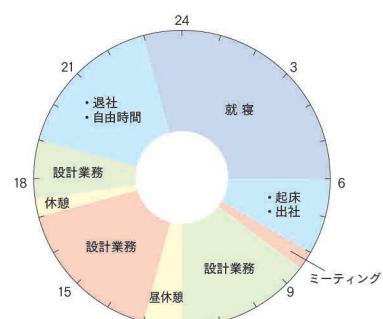
完成した喜びを 次の仕事のエネルギーに

仕事のモットー

【考える】設計業務で一番重要なことです。要求された仕様を満たしているか、動作効率に問題はないか、製造原価を抑える部品構成であるかetc。【考える】ことを続けることで進化、飛躍していくと確信しています。

うれしかったこと

予期せぬトラブルが発生した際、設計部・製造部・品質部に協力してもらいたい、なんとか納期遅れ等なく解決した。その完成した大型ダンプ車が市街地を走行している姿を見た時、自身の業務に対する喜び・達成感と、他部門への感謝の気持ちが溢れてきました。



:Profile

大北 稔さん(40歳)

設計部 リーダー
山口県宇部市出身
帝京大学理工学部機械科卒



東亜自動車工業株式会社

創業62年目を迎え、大型ダンプ、カーゴトラックなど大型の特装車を生産しています。一度に多くの物を運びたい。多様化するお客様のニーズに応えられるように、日々技術を磨いています。

- 事業内容 / ・新明和ダンプの製造
・トラックの設計・製造・販売
・新幹線車両部品の製造
・各種特装車の修理
- 設立 / 昭和31年8月
- 本社所在地 / 山口市佐山字村山1番9
- 代表者 / 上木 実
- 資本金 / 5,000万円
- 売上高 / 16.7億円
- 従業員数 / 97名(うちパート23名)
- 事業所 / 山口市佐山字村山1番9

お問い合わせ先

担当／総務部 村上
TEL 083-988-1711
E-mail murakami@miyako-group.com
<http://www.toabody.co.jp>



完成品を自分の目で確かめる

設計部に所属して9年目になる大北さん。現在は主にダンプカーの設計を担当している。元々自動車が好きで、最初は関東の方で設計の仕事をしていたが、Uターンして地元である山口県に戻り、現在の東亜自動車工業に勤めるようになった。仕事を続けていく上で、身近に家族や友人がいる安心感は大きいという。「仕事の最大の魅力は?」との質問に対して、「設計部と製造現場との距離が近く、自分の設計した図面がどのような工程を経て完成したかをすぐに知ることができるところ。逆に近い分、製造現場から叱られることも多々ありますよ!」と笑顔で話してくれた。

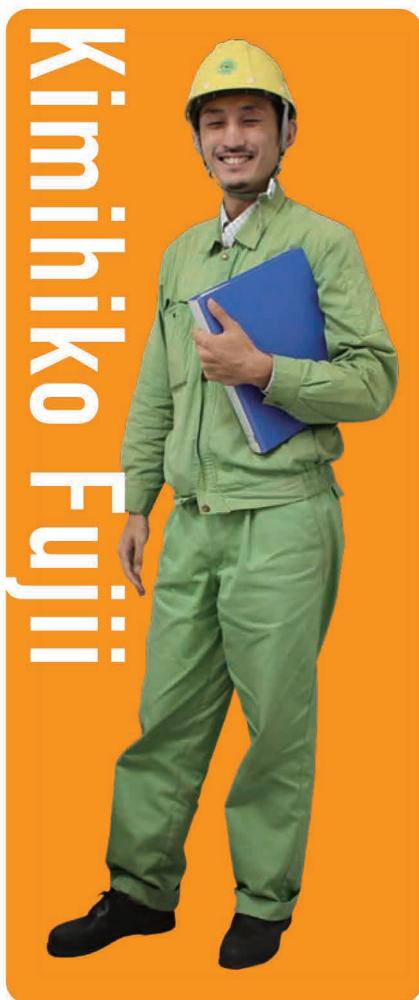


経験を積むことが大切

この仕事をする上で資格などは特に必要はないが、三次元のものを二次元の図面に展開できるセンスが必要となる。それでも一番大切なことは「経験を積むこと」だと大北さんはいう。失敗する度に反省し、原因を追究して対策を行っていく。それが一つ一つ重なって自身の成長へつながる。現在はその経験を活かし部下の育成にも励む。それだけでなく設計部というチームとしての仕事を円滑に進めるため、部署内はもちろん、他部署とのコミュニケーションも怠らない。そのおかげでチームワークはとても良く、他部署との連携もしっかりとれているのだという。設計部のリーダーを任せられている大北さん。職責を全うすべく、現在進行形で成長し続けている。

徳機株式会社

:Personal Data



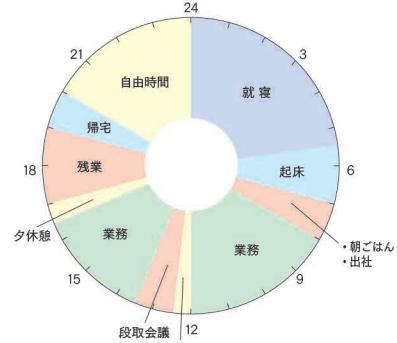
人と人のつながりを忘れず 相手を思いやる

仕事のモットー

仕事は、やはり人と人のつながりなので、相手に配慮しながら言葉を選び、資料を作るなど心がけています。人に親切に業務をすすめていれば、自分がピンチになった時に周りの人がフォローしてくれるようになります。そういうたった相互フォローの環を、周囲に広げられるように努めています。

うれしかったこと

業務未経験の中途採用で入社したために、仕事内容も進め方もわからないことばかりの時期がありまして、それを周りの方々が多忙な中でも、懸命に私を指導しようとしてくださいました姿勢が大変うれしく感じました。



:Profile

藤井 公彦さん(35歳)

プロセス機器事業部 設計課
山口県山口市出身
九州大学大学院修了

:Company Profile



徳機株式会社

当社は山口県周南市で、石油精製・石油化学プラントなどで使われる熱交換器、塔、槽、鏡版等のメーカーとして、設計から製造まで、その全てを自社工場内で行っています。極厚・大型鏡版の製造や塑性加工能力では世界屈指の技術力を有しています。

- 事業内容／熱交換器、塔、槽等圧力容器及び鏡版の設計・製作環境関連機器等の設計・製作・検査
- 設立／昭和9年2月
- 本社所在地／周南市港町11-1
- 代表者／岡田 哲夫
- 資本金／5,000万円
- 売上高／64億200万円
- 従業員数／185名
- 事業所／奈切工場・千葉事業所・横浜支店・いわき工場

お問い合わせ先

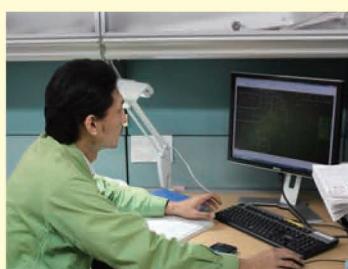
担当／業務部 人事庶務課 戸本 実
TEL 0834-63-1234
E-mail m.tomoto@tokkiltd.co.jp
<http://www.tokkiltd.co.jp>

Interview



緑は安全と成長のシンボル

工業製品の設計・製造・工事・メンテナンスの全てを自社工場で行なっている徳機株式会社。社屋や社服の緑のコーポレートカラーが印象的だ。藤井さんは入社してから3年、設計課で図面作成やお客様との折衝を行なっている。やりがいを感じる瞬間は「自分が作成した図面でモノができる瞬間」で、これからも設計に携わりたいと話されていた。また、取材をしていく中で、社員の方々皆が自分の仕事に誇りを持って取り組んでいるという印象を強く受けた。そして、世界屈指の技術が山口県にあるということに私も誇らしさを感じた。



仕事のやりがいとは

藤井さんは東京都で8年間ITの仕事をしていたが、地元である山口県に帰りたいと思い3年前にUターンし徳機に入社した。元々、理数が得意ではあるものの、工業とは無縁の生活をしていた。しかし、縁あって今は工業製品の設計を行っている。3月から始まる就職活動に向け必死に仕事へのやりがいを模索していた私だったが、取材を通して働くことに対する概念が変わった。取材中、雑談を交えながら就職活動を控える私たちに多くのアドバイスを下さった藤井さんの人柄の良さが信頼して設計を任せられているのだと感じた。

中村被服株式会社

:Personal Data



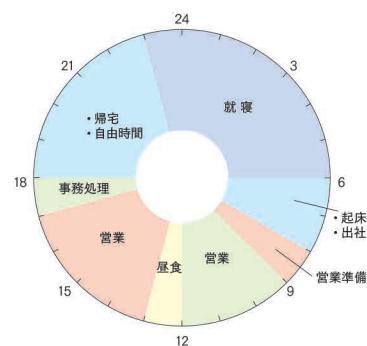
お客様との絆ができる それが我が社の魅力です

仕事のモットー

お客様に「ありがとうございます」と言って頂ける仕事をすることです。数あるメーカーから弊社を選んで下さったお客様に感謝されるような、お客様に寄り添った丁寧な仕事を心掛けています。

うれしかったこと

お得意先のある先生に「渡邊さんだから相談しました」と言われた時は嬉しかったです。日頃のお客様への誠意が絆を生み、自分自身を評価していただいた瞬間にやりがいを感じます。



:Profile

渡邊 貴也さん(27歳)

営業部
山口県防府市出身
北九州市立大学法学部法律学科卒

:Company Profile



中村被服株式会社

“KIRINJI”ブランドの園児服メーカーとして、全国4万園ある幼稚園、保育園のうち約4千園に採用頂いています。また、裁縫技術を活かした保冷BOXの設計製造においては、その設計ノウハウと裁縫技術で業界をリードしています。

- 事業内容／・園児用制服の企画・製造・販売
・保冷BOXの設計・製造・販売
- 設立／昭和28年2月
- 本社所在地／防府市石が口2-9-1
- 代表者／中村 顕
- 資本金／6,000万円
- 売上高／19億6,800万円(H29年8月期)
- 従業員数／120名(うちパート15名)
- 事業所／福岡営業所、大阪営業所

お問い合わせ先

担当／総務部 畑谷 康文
TEL 0835-22-3515
E-mail info@kirinji.co.jp
<http://kirinji.co.jp>

:Interview



地元に寄り添って90年

創業90年を超える歴史のある中村被服株式会社さんは、これまでの経験と知識を活かして本社のある防府市を拠点に全国に商品を展開している。山口県内の多くの制服は中村被服株式会社さんによって手掛けられており、地元には無くてはならない会社である。服に対する思いも強く、デザインや縫製、出荷に至るまで、制服を着る子どもたちのことを第一に考えている。入園式に間に合わせるため、たとえ遠い場所であってもお客様のところへ直接商品を届けることもあるという。そういった、お客様を第一に考える姿勢が90年という長い歴史を作っているのだと感じた。



ありがとうと言われる仕事

仕事のやりがいは子どもたちが自社の制服を着て元気に通園している姿を見る時だと話す渡邊さん。この会社を選んだきっかけは、いい思い出が詰まった自らの保育園時代の象徴である制服に思い入れがあるからだそうだ。取材中私の就職についてもアドバイスをしてくださるなど、真面目で丁寧な人柄がお客様から信頼される理由だと感じた。

今回の取材を通じ、私の人生の中で実は何度も中村被服さんの制服を着ていることが判り驚いたのと同時に、もっと企業を身近なものとして興味を持っていこうと思った。

株式会社中山組



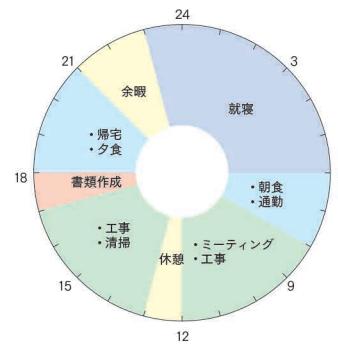
チームワークで街を作る 誇れる仕事

失敗したこと

工事では途中で設計変更されることがよくあるのですが、その変更内容を材料の製造会社や下請け会社に知らせ忘れていたり、上手く意思疎通ができていなかつたりして工事が遅れたことがあります。

学生の皆さんへメッセージ

屋外での仕事が多いので暑さ寒さで大変に感じる時がありますが、とてもやりがいのある仕事だと思います。ぜひ建設業界に興味をもってもらえるとありがたいです。



:Profile

河村 拓矢さん(28歳)

土木部
山口県下松市出身
九州大学工学部地球環境工学科卒



株式会社中山組

建築工事(建物、住宅、公共施設等)、土木工事(道路工事、宅地造成等)を施工する企業です。自分の努力で建物や道路などが出来上がった時の達成感があります。また、社員の仲が良く、最近入社した若手社員も会社に溶け込んで頑張っています。

- 事業内容／総合建設業(土木工事・建築工事)
- 設立／昭和22年1月
- 本社所在地／下松市大字西豊井1405-5
- 代表者／代表取締役 中山 統夫
- 資本金／3,000万円
- 売上高／7億8,975万円(28年度)
- 従業員数／14名
- 事業所／本社

お問い合わせ先

担当／業務部 鈴木 孝夫
TEL 0833-41-0426
E-mail kk-nakayama@eagle.ocn.ne.jp

Interview



若者でも働きやすく、地域に貢献

建築、土木を中心に地域で活躍する株式会社中山組。道路の舗装工事や宅地の整備、そのほか河川、トンネル、ダムの工事など幅広く活動している。働きやすい職場づくりを目指し積極的に若者の受け入れや男女共同参画、休みがとりやすい環境、資格取得の促進を行っている。資格試験については実務期間が定められているものが多く、働きながら資格取得を目指すことができる。そしてそれらの支払いは会社が負担するといった会社全体での向上心がみられる。人と人の信頼関係が必要な現場だからこそこのチームワークは皆さんの笑顔を見れば感じられる。

ここにしかない達成感

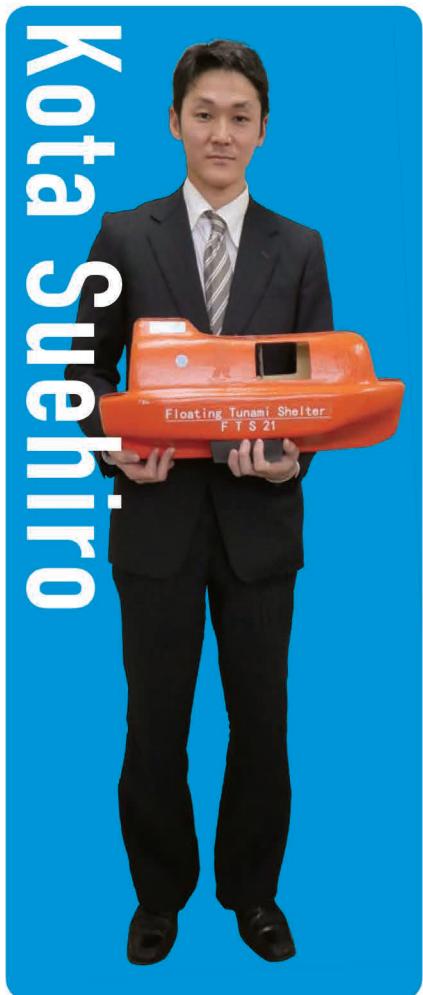
土木現場の管理・補助を行う河村さん。現在は宅地の整備を任せられ先輩からの期待も大きい。この仕事のやりがいや魅力を聞くと「天気や季節に左右されやすい屋外での仕事はあまり良くないイメージがある。しかし、大きなものを造る達成感はここでしか味わえない。たくさんの人々に興味を持ってほしい。」と語ってくれた。「工事では途中で設計の変更や問題が生じることがある。これらを1から100までこなし、頼ってもらえるような人になりたい。」と強い志を感じた。

Yamaguchi Genki Company Report 2018

:Company Name

株式会社ニシェフ

:Personal Data

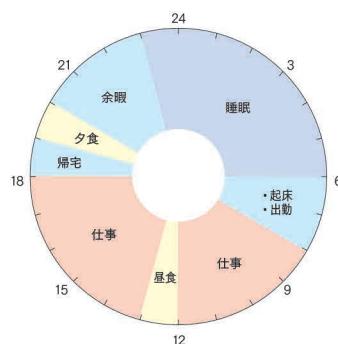
お客様のニーズに応えて
生み出す楽しさ

うれしかったこと

長い時間を使って、一からすべてにおいて携わるのでその分の達成感が何とも言えないです。お客様からのニーズに応えた時に、感謝の言葉をもらうことがあります。それが一番嬉しいです。

学生の皆さんへメッセージ

就職は人生を決めるものです。つまり、この仕事で生きていくことを決めることが重きを置いてほしいです。自分の分野にとらわれず、積極的に他の業種を調べ、知識を広げましょう。いろいろな話を聞くことが、自分の財産となると思います。



末廣 功太さん(29歳)

営業
山口県宇部市出身
山口大学経済学部卒

:Company Profile



株式会社ニシェフ

当社は「FRP船舶と成型品を通じて社会に貢献する」ことを企業の旗印にするとともに、FRPという素材を建造だけでなく、保守点検サービスへと領域を広げることで、国内外の市場に向け、ニシェフの新たな価値を発信していくことを基本姿勢としています。

■事業内容／FRP(ガラス繊維強化プラスチック)製船舶及び成形品の企画・設計・製造・販売・メンテナンス事業

■設立／昭和46年11月
■本社所在地／下関市豊北町大字栗野4238番地
■代表者／堀井 淳
■資本金／5,000万円
■売上高／16億円(平成29年3月期)
■従業員数／86名
■事業所／小浜工場(福井県小浜市)
東京営業所(東京都港区)

お問い合わせ先

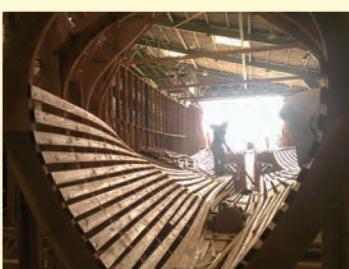
担当／総務部 石井省三
TEL 083-785-0126
E-mail info@nishi-f.co.jp
<http://www.nishi-f.co.jp>

:Interview



分野に縛られない

営業部の末廣さんは、学生時代は経済学部であった。しかし、文系ではあったものの「ものづくり」に興味・関心を抱いていたという。機会があって、学生時代にニシェフとの討論の場に参加することになる。そこで、製品の解決案を見つけていく中で、さらに興味を持つようになったという。文系・理系だからといって、その分野にしか進めないと限らない。「分野にとらわれず、他の業種を見ることで、自分の視野を広げることにつながる」と語ってくれた。



変革し続ける

株式会社ニシェフはお客様との話し合いで船を造るフルオーダーメイドの形をとっている。一から全部造るのだ。長い期間を使って、計画、設計を行っている。つまり、一からすべてのことを携わっているのだ。その分、達成感は格別だという。さらに、お客様からの感謝の言葉を頂いた際は、この仕事のやりがいを感じるという。また、船舶事業は浮き沈みが激しい。この現実があるから、事業を興せる担当になりたいと末廣さんは語ってくれた。

社会福祉法人稗田福祉会

:Personal Data



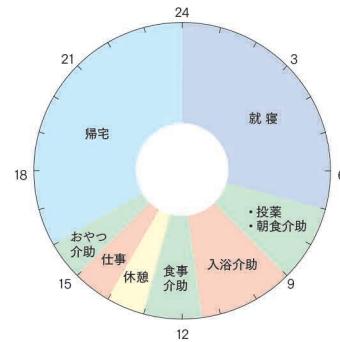
家族のような暖かさで 心温まる介護を

仕事のモットー

明るく笑顔で、いつも丁寧に。ご利用者の方やご家族の方に「この人がいるから安心する」と思ってもらえるような介護士であります。そして何より、ご利用者が毎日笑って過ごせるような場所を作っていくたいと思っています。

うれしかったこと

ご利用者の介護をしていて、心に残っている言葉があります。仕事に出勤してご利用者に会った時、笑顔で「あなたの顔を見て安心した」その言葉を聞いた時には今まで介護をしてきて良かったと本当にうれしく思いました。



:Profile

松永 純子さん(33歳)

介護課 サブリーダー
山口県下関市出身
宇部短期大学生活福祉学科卒

:Company Profile



社会福祉法人稗田福祉会

私たち慈公園では、スタッフ同士が声をかけあい、コミュニケーションを大切に、良い人間関係作りをしています。そしてお互いが協力しあい、ご利用者やご家族に安心を届けています。

- 事業内容 / 特別養護老人ホーム・ショートステイ居宅介護支援事業所保育所
- 設立 / 昭和48年7月
- 本社所在地 / 下関市稗田中町8-38
- 代表者 / 黒木 雅裕
- 従業員数 / 32名(うちパート10名)
- 事業所 / 社会福祉法人 稗田福祉会
特別養護老人ホーム慈公園
ひえだ保育園

お問い合わせ先

担当/深堀 栄子、勝本 洋子
TEL 083-252-7500
E-mail jikouen@hieda-fukushikai.com
<http://hieda-fukushikai.com>

Interview

介護の仕事は毎日が勉強

稗田福祉会は特別養護老人ホーム・居宅介護支援事業所・保育所・地域子育て支援拠点事業などの事業を行っている。今回取材に協力して頂いた慈公園の松永さんの業務は、利用者さんの介護。投薬から食事介助、入浴介助など生活に関わること全てが仕事になる。そんな松永さんは「介護の仕事は正解がないので毎日が勉強です」と笑顔で話す。利用者さんの体調は毎日変わるために、職員との情報交換や利用者さんとのコミュニケーションで素早い対応を行う。取材時も利用者さんや職員へ挨拶する松永さんの笑顔が印象的であった。松永さんの目標は「利用者さんに今日が楽しかったと一日を終えてもらうこと。夙やクリスマスツリーを飾って、季節感を味わってもらうことが大切。ただ、起きて食べて寝るというサイクルでは、生活の張りがなくなる。そうならないために行事を定期的に開催している」と語ってくれた。



大変さの中に楽しさのある仕事

松永さんは「利用者さんが、入居して元気になることがあります。自分でトイレに行けずにおむつを履いていた方が自分でトイレに行けるようになったり、刻み食から普通食になったり。ご家族の方からここに入居して良かったと言われた時には、本当に嬉しいです。」とやりがいを語る。「介護って聞くと大変だとかきついだとか、そういうイメージがあると思うんです。でも、そういう大変さの中には楽しさがあることを知ってほしいです。樂しくないとできない仕事ですか。」と語る松永さんからは、介護への熱い思いが伝わってくる。松永さんは広報も担当している。ホームページを見て少しでも松永さんの思いや慈公園の明るい雰囲気を感じてほしい。

Yamaguchi Genki Company Report 2018

:Company Name

株式会社フジマ

:Personal Data

やるからには何ごとも
「楽しむ」を意識して

仕事のモットー

どのようなことも楽しむことを意識しています。仕事の中には得意ではないこともあります、やるからには楽しもうという姿勢を大事にしています。

うれしかったこと

お客様に自分の名前を覚えていただき、名前を呼んでもらったことです。飲食店は味がおいしいことは当たり前の時代です。サービスで他の店と差をつけるため、お客様の目線になり自分から歩み寄る接客を大切にしています。



竹内 豊さん(23歳)

さざん亭 徳山店 社員
山口県光市出身
山口県立光丘高校卒

:Company Profile



株式会社フジマ

仕出し料理を始め、ざざん亭・のん太鮨・八丁櫛を開設し、我社の誇り、自社魚市場の旬で新鮮な魚とフレンドリーなおもてなしでお客様満足度「環瀬戸内海No.1」を目指し、日々努力しています。

■事業内容／魚市場を始め都市・仕出し料理・和食レストラン6店舗、回転寿司6店舗、海鮮居酒屋3店舗、ラーメン店など山口・広島で20数店舗展開しています。

■創立／昭和26年8月1日
■本社所在地／柳井市柳井987番地
■代表者／藤麻一三
■資本金／6,600万円
■売上高／40億円
■従業員数／505名(うちパート427名) H29.6末
■事業所／ざざん亭6店舗・のん太鮨6店舗・八丁櫛・仕出し料理・多目的ブライダル・魚市場

お問い合わせ先

担当／人事 石田 真奈美
TEL 0820-22-7780
<http://www.xfield.com/fujima/index.html>

:Interview



まずは好きになってみること

学生時代は人見知りだったと語る竹内さん。高校生の時お弁当屋さんのアルバイトを始め、お客様や従業員の方など、友人の方以外との会話をするようになったことで、人と話すことへの抵抗感が減っていったそうだ。インタビュー中も話しやすい雰囲気を作っていただき、昔人見知りだったと言われた際は驚いてしまった。

そんな竹内さんが仕事をするうえで意識していることは、まずは自分から興味を持ち、好きになってみることだそうだ。好きになってみて見えてくることもある。受け身にならず好きになってみてほしいとアドバイスをいただいた。苦手なことからも逃げようとせず前向きに取り組まれている様子が印象的だった。

26歳までに

現在23歳の竹内さんは、26歳までにざざん亭の店長になるという目標を掲げて、毎月勉強会に参加されている。店長になるには、その一つ下の役職である「副長」になる必要があり、そのために勉強会で会社の経営理念などを今一度学び直したり、他店で調理の経験を積んだりしているそうだ。

その勉強会の中でも特に力を入れて行っているのが、フジマグループの強みである接客である。自己流の接客になってしまわぬよう、勉強会に参加し基本に立ち返ることでそれを防ぐ。また、自身が勉強することで、店長の代わりとなってパートやアルバイトで働く方にも教えることができるようになる。自分の目標のためだけでなく、一緒に働く人のことも考えられる竹内さんが店長になる日が来るのには、もうすぐではないかと感じた。

株式会社藤本コーポレーション

:Personal Data



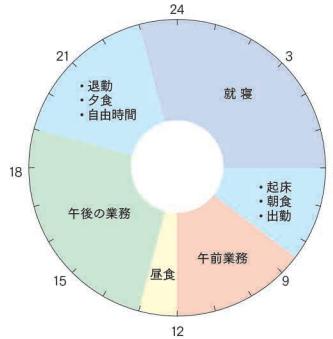
作り上げる一つ一つの 製品にこだわりを

仕事のモットー

『感謝の気持ち』を大切にしています。仕事は、一人ではできません。常に周りの人たちと協力しながら業務を行っていくしかななければなりません。感謝の気持ちを忘れないように日々精進しております。

学生の皆さんへメッセージ

将来に向け自分自身が、何がしたくて、何ができるのかが重要になってくると思います。その中で、より良い選択をする機会です。『打つ手は無限』まずは、行動してみてください。



:Profile

水戸井 靖治さん(46歳)

人事部 人事担当
山口県下松市出身
山口県立光丘高校卒

:Company Profile



株式会社藤本コーポレーション

- “～創業89年～ 信頼される技術力・提案力”
- ◇ 優れた商品を提供する。
- ◇ お客様との信頼関係を築き大切にする。
- ◇ 現実を直視して理想を追求し、現場の声を活かして、現品を分析しより良い商品を創出する。
- 事業内容 / 総合印刷業(企画⇒提案⇒制作⇒印刷)までを自社で一貫して行い、ワンストップで依頼を遂行することにより高品質なものをスピーディーに提供することができます。
- 設立 / 昭和41年3月
- 本社所在地 / 柳井市南浜3丁目1番1号
- 代表者 / 藤本 憲治
- 資本金 / 4,500万円
- 売上高 / 36億円(2017年3月)
- 従業員数 / 160名
- 事業所 / 東京、福岡、広島

お問い合わせ先

担当／人事部 水戸井 靖治
TEL 0820-22-1337
E-mail y-mitoi@fujimoto-p.co.jp
<http://www.fujimoto-p.com>

Interview



協力し、お客様の納得できる物を

各種印刷からイベントの企画・DM事業等、幅広い事業展開を行う藤本コーポレーション。デザイナーと現場のスタッフが協力し、お客様が納得得するものを作れるように日々新しいことに挑戦している。今年、新工場に移転したこともあり、これからも事業をもっと拡大していく。

地域の祭りで他とは一味違う団扇を配っていたり、と身近な会社だ。その団扇も独自のデザインで配り始めるとすぐにくなってしまうくらい人気になっている。

印刷って何だと思いますか

「印刷って何だと思いますか」と言いながら見せてくれたのは一見普通の版画にしか見えないもの。手に取ってみると紙に印刷されていただけだった。掘った跡や木の質感などそっくりだった。「一つのオリジナルと同じものを複数作るのが印刷なんです」と教えてくれた。

印刷するデザインにもこだわっている。見せてもらった資料にはさまざまなものがあった。印刷するものや質感、色使いなど細かいところまで気を使って作っている。「黒一色にしても違うんです。黒単色ではなく、他の色を混ぜたりしてそのデザインに一番合う色を選んでいます」と専用の道具を持ってきて教えてくれた。色以外にもニス加工やフィルム印刷等様々なところに工夫がなされていた。その様な細かなところが大事なんだなと感じた。

「10年後は、売上高を倍くらいに、そして幅広い分野でも活躍していきたい」と話す。印刷業もそうだが他の事業にも力を入れていきたいと強く語ってくれた。

Yamaguchi Genki Company Report 2018

:Company Name

ブルーウェーブテクノロジーズ株式会社

:Personal Data

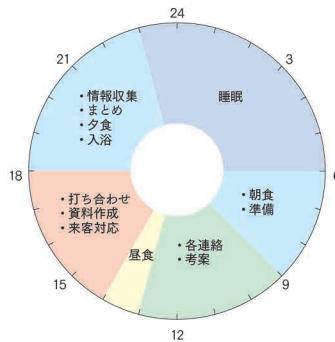
照明で、会社とともに
挑戦し続けたい

うれしかったこと

秋吉台国際芸術村のアートプロジェクトで生花の先生とコラボでライトショーを行いました。お互いに初めての試みで途中で何度も意見がぶつかりましたが、妥協をしない関わり方で進めたプロジェクトが形になり、最終的に多くの人が感動してくれたことです。

学生の皆さんへメッセージ

自分がどのように働きたいのか決めることが大切です。ベンチャーに求められる働き方は、自分が自発的に仕事ができることです。一般企業で求められる働き方は、上長の指示に従い忠実に働くことです。求められる内容も成果も異なるので、この入り口は慎重に考えてほしいです。



:Profile

香川 一美さん(46歳)

経営企画グループ
岡山県倉敷市出身
岡山県立琴浦高校卒

:Company Profile



ブルーウェーブテクノロジーズ株式会社

私たちはひかりを専門に扱うプロフェッショナル集団として、それぞれの役割を担いながら、常に最高のものづくりとソリューション提供が行えるよう部課制ではなくチームとして活動しています。

- 事業内容 / LEDを使用した各種照明器具、制御装置等の設計、開発、製造および販売
- 設立 / 平成23年9月
- 本社所在地 / 宇部市あすとぴあ2丁目1番1号
- 代表者 / 代表取締役 坂本 真一
- 資本金 / 1,000万円
- 売上高 / 1億6,000万円(H28年度)
- 従業員数 / 11名(うちパート2名)
- 事業所 / 東京事業所、あすとぴあ事業所

お問い合わせ先

担当 / 経営企画グループ 香川 一美
TEL 0836-39-6236
E-mail kazumi.kagawa@bluewave-technologies.com
<http://www.bluewave-technologies.com>

:Interview



“あかり”でその場の演出を

経営企画グループに所属している香川さん。業務内容は主に注文されるお客様と会社との仲介役を行っている。また、ブルーウェーブテクノロジーズでは多能工という一人が様々な仕事を行うという働き方をしている。これにより、決まった仕事をすることが苦手で新しいもののづくりをすることが好きな香川さんにとって、働きやすい環境になっている。

そんな香川さんにとって、照明でお客様の雰囲気を演出できた時に魅力を感じができるという。光源により様々な色を発することのできる照明を使うことでお客様の状況に適した光を提供することができるという。

挑戦を忘れない会社

LED照明器具の開発製造・検査・出荷までをすべて行っているブルーウェーブテクノロジーズ。日本に照明器具の開発製造から出荷までを全て担っている会社は少なく、東京等の遠距離からも依頼が来るそうだ。また、門司港や山口宇部空港が近いことからモノの流れが速いことや産業技術センターの近くにあることなども大きな魅力であるという。10年後のビジョンとして、現在も行っている特注照明の製造を守りながら、照明とは全く違うイベントの音響や舞台などの仕事も行うことで“常に挑戦をする会社”でありたいという。

